



乳がん（その1） マンモグラフィってなに？

乳腺外科 野村 孝

乳がんの死亡率や罹患率は年々増えています。しかし、従来から行われている視触診のみによる検診では、生存率から見て有効性を示す根拠は少なく、マンモグラフィが必要であると報告されました。

（1）マンモグラフィって何でしょうか？

乳房のX線撮影のことです。乳房は柔らかい組織でできているために、専用のレントゲン装置を使って撮影します。乳がんの精密検査の1つとして最近多く用いられます。もちろん検診にも使われます。

（2）マンモグラフィはどんなところが良いのでしょうか？

無症状で触ってわからない病変を発見することができます。専用装置を使ってより精密に撮影すれば早期の乳がんの発見には大いに役立ちます。

（3）放射線被曝による危険はないのでしょうか？

X線検査ですので放射線による被曝がありますが、乳房だけの部分的なもので、骨髄などへの影響はなく、白血病などの発生はありません。1回の撮影で乳房が受ける（吸収する）放射線の量は、東京からニューヨークへ飛行機で行くときに浴びる自然放射線（宇宙線）の量のほぼ半分です。マンモグラフィ撮影に伴う危険はほとんど無いが、あっても極めて小さいと言えるでしょう。

（4）マンモグラフィだけで乳がんはすべてわかりますか？

そんなことはありません。乳がんの一部にはマンモグラフィには写らないものもあります。特に若い人の乳腺は全体が濃く写りますので、その中の小さな病変は見えないことがあります。ですから、触診や超音波検査を併用する必要があります。